

式 辞

今日で、たくさんの行事を控えていた2学期が終わります。季節は確実に進み、冬の到来とともに宵の明星、金星が美しく輝く頃となりました。今日は星にちなんだお話をします。

流れ星を見たことがある人はどれくらいいますか。流れ星に願いごとをしたことのある人は？ 先日、脳科学者の中野信子さんの著書の中で「流れ星に願いごとができる人の願いはかなう」という話に出会いました。ただし、続きがあります。「流れ星が願いをかなえてくれるのではありません。自分がいつもそのことを考えているから願いはかなうのです。」流れ星が光るその一瞬に、ためらうことなく願いが言えたことが本気の現れであり、すでに夢の実現に近付いている証拠なのだそうです。あわせて、「人間は自分の見ている方向にしか進んでいかない。自分が心底から望むことをずっと考えている中で、そのためにどうすればよいかという知恵が生まれて、やがて目標が達成できる」ともありました。

明日から冬休みです。3年生の皆さんの多くにとっては学生時代最後の冬休みでもあるでしょう。3年生はもちろん1・2年生も含めて、家族や親族との関わりの中で幸せを実感する、楽しい冬休みを過ごしてください。そして、年の初めには、自分の目標を再確認し、その実現に向けて具体的に行動を始めたいと思っています。

以上、令和6年度第2学期終業式の式辞といたします。

令和6年12月20日

愛媛県立東予高等学校長 渡邊 琴子